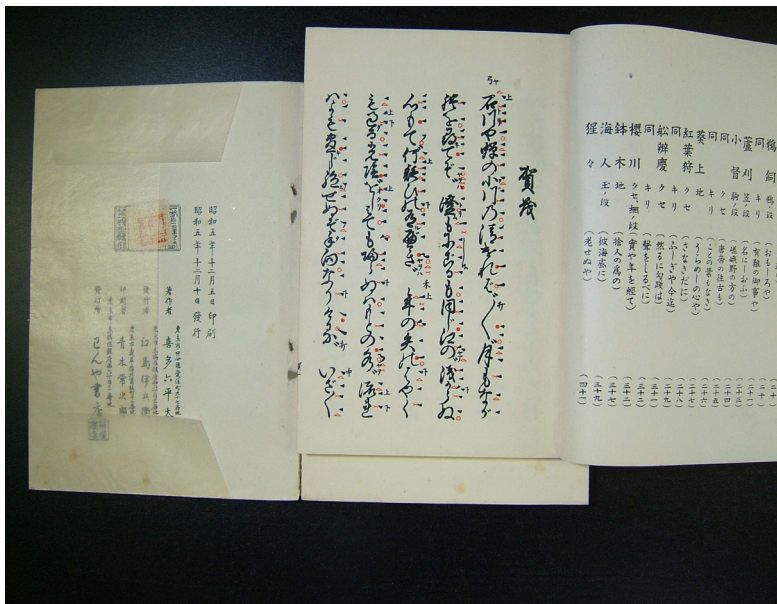
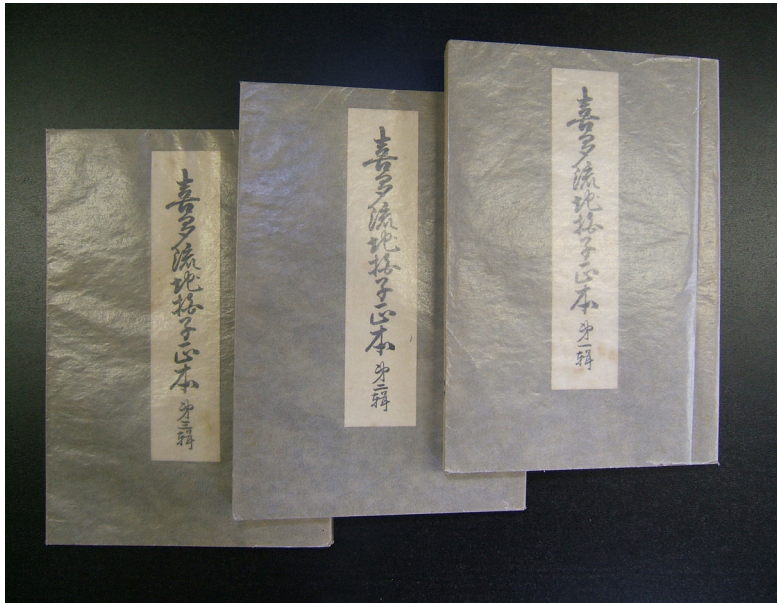


喜多六平太 『喜多流地拍子正本』

各巻、部分謡を各巻に三十一曲ずつ収める。各謡の節付に沿って、拍を示す粒を朱で書き込み、当たりをしめす。この粒の置き方は、凡例では「堅附」と呼ばれている。また凡例には、「文字ニ当ル粒ハ悉ク節ノ左端ニ記入ス」というような、普通なら書かずにすませてしまいうような、親切な説明もある。「消シ廻シニハ特別ノ符号「一」ヲ用フ」とあり、朱で線が引かれている。後に謡本に（黒で）書き込まれることとなる符号が、この時にはじめて考案されたことが想像されよう。



標題
内題：—

標題紙：—

奥附：—

その他：喜多流地拍子正本 第一輯、第

二輯、第三輯（題簽）

著者 奥附：喜多六平太

その他の場所：—

出版
版次：第一版

出版地：東京

出版社：わんや書店

出版年：昭和5（1930）

その他の場所：—

形態 冊数：三冊 頁数：四二丁、四二

丁、四七丁

寸法：18×13（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考